

物心ついた頃、母に「僕は長男だけど、家の仕事を継いだ方がいいのかな？」と、スーパリーの帰り道に尋ねた記憶がある。

その時母は、「別に継がなくていいし、好きなようにしたらええよ」と言ってくれた。家業を継がねばならないと思いついて自分には「ふーん」と生返事をしながらも内心驚いた。あまりに意外だったからか、今でもその時の光景をよく覚えてる。

僕は昔からSFが好きだ。ガンダム、攻殻機動隊、スター・ウォーズ。そんな未来的な世界に憧れる自分にとって、伝統的な「手織りの道具屋」は、まったく興味の持てない仕事だった。

学生時代はドラムに打ち込んだ。うだつの上がらない人生に、何か花を添えたかったのだと思う。ドラムの上達と共に、落ち着きがなかった性格も、友人に助けられながら少しずつバランスが取れるようになっていった。大学卒業時、父に「お前、仕事はどうするんや？」と聞かれた。「まだもう少しドラムを叩きたい。バイトしながら続けるわ」と返すと、「それなら



Vivre
No. 381 2026.6.1


(撮影 吹田 哲二郎)



家でバイトしたらどや？」と提案された。そりゃ楽しいいな、そんな軽い気持ちで家業に入ったのが始まりだった。四十歳になり、人生の折り返し地点で振り返ってみると、僕の最大の長所は「物事を積み重ねながら継続できる」ことではないかと思う。今でもガンダムは好きだし、昨日も大阪のライブハウスでドラムを叩いてきた。そしてバイトから入った家業は、今では社長として引き継いでいる。イーロン・マスクが新世代ロケットを宇宙へ飛ばそうとし、生成AIが台頭するこの時代。産業としての役目を終えたはずの手織り道具が、今もなお、人間に必要とされている事実には、僕は少し安心している。デジタルとアナログは、生成AIと手織り機のように、対極にありながら共存していくことで、さらに面白い未来につながっていくのではないだろうか。



稲垣機料株式会社
明治30年代創業の手織り道具専門店。稲垣隆太郎氏は四代目。手織機や杵などの道具、糸や染料を販売。レンタル作業スペースや講座を行う「稲垣機料@ぶらす」も運営し、現在は海外展開に向け地道に作業を進めている。



@INAGAKIKIRYO

「暮らしを支える医療介護を創る」
(医) 永原診療会
京都市上京区千本五辻上る
☎461-0636
制作 びーぶる編集部 vivreoffice@gmail.com



表紙のひと
稲垣 隆太郎 (いなきりゆうたろう) さん
稲垣機料株式会社 代表取締役

山の風、
滝の音、
ときどき猫の声⑬

身を守るといふこと (後編)

(前号からの続き) 自然界の生きものたちは、さまざまな方法で自分を守っている。痛みで敵を寄せ付けられないもの、失敗を通して敵に学ばせるもの——そして、もう一つ意外な方法もある。危なそうな雰囲気をもたないながら、実は別の目的を秘めているものだ。

腐ったような臭いを放ち、虫を呼び寄せて胞子を運ばせるキノガサタケなどのキノコは、「近づくな」ではなく、むしろ「来て来て」とメッセージを送っている。だが動物はその臭いを嫌い、食べるのを敬遠する。見た目や印象をうまく利用して、自分に都合のいい状況をつくっているわけだ。



キノガサタケ / 悪臭が虫を誘う

乙 牧 和 宏

こうして眺めると、「身を守る」といつても一つの形ではないことがわかる。強く拒む、やんわり学ばせる、あるいは相手を誘導する。どれもその環境の中で選ばれてきた方法だ。

人間もまた、自分を守る場面にたびたび出会う。真正面から距離を取ることもあれば、斜めからやり過ごしたり、相手に気づかせたりすることもある。自然界のやり方を思い浮かべると、「こうでなければならぬ」という正解は案外ないのかもしれない。

身を守るといふのは、壁をつくることではなく、そのときどきの状況に合わせて振る舞いを選ぶことなのだろう。少し大げさに言えば、生き方のセンスのようなものかもしれない。

黒糖梅ゼリー

黒糖の梅ジュースを使ってゼリーを作りました。昨年六月頃だったか、梅が店頭に並ぶようになり、梅ジュースの話題を利用者のSさんと話していました。百歳を超えたSさんは、ひ孫さんとも同居の大家族の中で賑やかに暮らしておられ、この季節に



なると、毎年黒糖で梅ジュースを作っていたそうです。「この梅ジュースで作ったゼリーは子供達も大好きなの」「美味しいよ」と。聞けば聞くほどどんな味か興味があるので、その黒糖梅ジュースを作ることになりました。本来は三週間程で飲めるようになるのですが、「まだまだ」「もう少し置いておかないと」とSさんからの厳しいダメだしをいただき、じっくり熟成期間を置いて、数か月後ようやく口に入りました。黒糖独特の甘みと梅の爽やかな香りがすっきりと実に美味しいゼリーでした。

私たちはSさんに食べてもらいたいはずと楽しみにしていましたが、急な入院で結局Sさんに食べてもらうことは叶いませんでした。

教えてもらった梅ゼリー、今年もまた作ってみようかな。Sさんの「そろそろ作らないと」の声が聞こえたような気がします。

(文 田中)

みんなのほっこり日和 ~今日のひとくちはなし

このグラス、本当に優秀なんです！温かい飲み物はずっと温かく、冷たい飲み物はキンキンのまま。最後の一口までちゃんと美味しい!(^_^)!

実はこれ、お友達からプレゼントでいただいて、もう2年近く愛用中。最初はペアだったんですが、ツルツとした形がちょっと滑りやすく…うっかり1つ割ってしまいました。



悩んだ末に結局もう1セット購入して、今では3つ持ちに。(気に入らずすぎですね)

私は抹茶系が大好きなので、お風呂上がりの抹茶ミルクが毎日の楽しみ♡冬は熱々のホット、夏はキンキンのアイスで。

飲み終わった後の、あのホッとする時間が、たまらなく幸せです。一日の疲れがスーッと抜けていく感じ…まさに至福の一杯です。

(自在館嬉楽家 介護福祉士 米山 陽子)

月の便り

千本診療所二階の元氣道場の出窓には、まるでこの主のようになつがいの亀がいます。「亀ちゃん」と呼ばれていましたが、このたび「げんちゃん」「きーちゃん」と名付けられました。隣の水槽には、突然変異で白くなった金魚がいて、もう一匹の赤い金魚とめでたく紅白で元気に泳いでいます。そのまた隣の水槽には、小さな小さなメダカとエビがいます。エビはこの春に沢山の赤ちゃんを産みましたが、体操に来ている方達に「頑張り」と優しく見守られていました。この生き物は、今日も皆さんを笑顔にしています。(奈須)

今月の一冊

「このママにきーめた！」

さく・のぶみ / サンマーク出版

のぶみさんのシリーズが好きで、子供が小さい時によく読み聞かせをしていました。中でも「このママにきーめた！」は印象的で、今でも大事に置いてあります。

みんなが「えーっ！」と思うようなズボラママを選んで生まれてきたぼく。でもママはママなりに一生懸命に赤ちゃんを愛し、ぼくはママを喜ばせたくてママを選んできたんだよ…そんなお互いを思いあう気持ちがストレートに感じられるお話です。

子供の為に読み聞かせをしても、何となく気恥ずかしいような、聞いている子供も照れくさくなるような、心温まる絵本です。絵もとっても可愛いのです。

私の子供は中学生、高校生となり、あまり会話が弾まなくなる年齢にもなっていますが、お互いに「とっても大事に思ってるよ」というのを伝え合うのもいいなと思っています。

(訪問看護ステーションまる 看護師 平川 希実子)



びーぶる編集部：吹田美智子 奈須佳世

■千本診療所（外来）診療予定表 ☎ 075-461-0636 FAX 075-466-2299

	月	火	水	木	金	土
9時～12時	一般内科 根津幸彦	一般内科 根津幸彦	一般内科 根津幸彦	一般内科 漢方 吉澤泰介	一般内科 青木寧子	一般内科 根津幸彦
16時～19時	一般内科 根津幸彦	休診	休診	一般内科 漢方 吉澤泰介	休診	休診

2025年6月より、外来診療時間・担当医を変更させて頂いています。



⑧NAGAHARA_SENBOH

■千本診療所（訪問診療） ☎ 075-461-0636 FAX 075-466-2299

	月	火	水	木	金	土
午前	池田識道 一般内科 外科	—	渡邊久美 一般内科	青木寧子 神経内科 一般内科	西村貴美子 一般内科	—
午後	池田識道 一般内科 外科	根津幸彦 一般内科	根津幸彦 一般内科	青木寧子 神経内科 一般内科	—	—

当院は機能強化型在宅療養支援診療所として届け出済み（支援診2第4号）です。上記以外の日につきましても、急変時には24時間365日対応致します。（緊急ダイヤル有）

■元氣道場（千本診療所2Fリハビリフロア）

	月	火	水	木	金	土
9時～12時	○	○	○	○	○	○

※第4土曜日は、11時40分終了となります。
※金曜日の午前は理学療法士による評価がありますので、ご興味のある方はご相談ください。

■訪問看護ステーションまる ☎ 075-461-0634 FAX 075-466-2306

事業所番号：2660290160

	月	火	水	木	金	土
9時～17時	○	○	○	○	○	○

■居宅介護支援事業所まる ☎ 075-461-0764 FAX 075-466-2306

事業所番号：2670200985

	月	火	水	木	金	土
9時～17時	○	○	○	○	○	○

■浄福寺診療所（眼科）診療予定表 ☎ 075-441-1995 FAX 075-441-9576

現在、浄福寺診療所《眼科》につきましては、担当医の療養のため休診とさせて頂いております。診療再開につきましては、今しばらくお時間をいただく見込みです。再開の目途が立ち次第、改めてご案内いたします。

■通所介護 自在館嬉楽家 ☎ 075-441-9510 FAX 075-441-9560
事業所番号：2610200855（介護予防）地域密着型通所介護

ご利用日（日曜・年末年始休業）

	月	火	水	木	金	土
8時50分～17時50分	○	○	○	○	○	○

事業所所在地

- ◆千本診療所 〒602-8475 京都市上京区千本通五辻上ル牡丹鉾町 556
- ◆自在館ぼたんぼこ 〒602-8475 京都市上京区千本通五辻上ル牡丹鉾町 547
- ◆訪問看護ステーションまる
- ◆居宅介護支援事業所まる
- ◆浄福寺診療所（眼科） 〒602-8482 京都市上京区浄福寺上立売上ル大黒町 686
- ◆通所介護自在館嬉楽家 〒602-8482 京都市上京区浄福寺上立売上ル大黒町 686

